



**Hewlett Packard**  
Enterprise

# HPE OneView for Microsoft System Center リリースノート (v 8.0)

部品番号: 832154-192R  
2016 年 1 月  
第 2 版

## 商標

ここに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスの保証は、該当する製品およびサービスに付属する明示された保証書の記載内容に限られるものとします。本書中のいかなる記載も、付加的な保証を構成するものとして解釈されないとします。Hewlett Packard Enterprise は、本書に含まれる技術上または編集上の誤りおよび欠落について、一切責任を負うものではありません。

社外秘のコンピューター ソフトウェア。所有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise からの正当なライセンスが必要です。FAR 12.211 および 12.212 に従って、ベンダーの標準的な商用ライセンスの下に、米国政府に対して商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェア ドキュメント、および商品に関する技術データのライセンスが提供されています。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトから移動することになります。Hewlett Packard Enterprise は、他社の Web ウェブサイトを管理していません。また、Hewlett Packard Enterprise は、他社の Web サイトにある情報に対していかなる責任も負いません。

Microsoft® および Windows® は、Microsoft Corporation の米国および/または他の国における登録商標または商標です。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

## 説明

HPE OneView for Microsoft System Center v 8.0 は、サーバー、PC、ストレージ、ネットワークデバイス、ソフトウェアなど、IT の物理環境と仮想環境の管理を統一する完全に統合された製品です。Microsoft System Center Operations Manager 2012/2012 R2、Microsoft System Center Configuration Manager 2012/2012 R2、および Microsoft System Center Virtual Machine Manager 2008/2012/2012 R2 に Hewlett Packard Enterprise の拡張機能を統合し、Microsoft System Center 環境に Hewlett Packard Enterprise 製ハードウェアの管理機能をネイティブに提供します。

この製品について詳しくは、OneView for Microsoft System Center の Web サイトを参照してください。

<http://www.hpe.com/go/ovsc> (英語)

## アップデートの推奨

推奨 - 新しい拡張機能と新機能が含まれます。このアップデートのインストールをおすすめします。

## 置き換えられるバージョン

OneView for Microsoft System Center v 7.6。

## オペレーティングシステムおよびデバイス

サポートされるハードウェアとソフトウェアに関する詳細は、それぞれの機能のユーザーガイドに記載されています。

これらのドキュメントは、OneView for Microsoft System Center ドキュメントの Web サイトで入手できます。

<http://www.hpe.com/info/ovsc/docs> または [http://www.hpe.com/jp/ic\\_manual](http://www.hpe.com/jp/ic_manual)

## 新機能

OneView for Microsoft System Center のリリース 8.0 には、以下のものが含まれます。

- 単一統合型 SCVMM Fabric Management/Storage Add-in
  - 統合型インストール – シングルマスターインストーラー
  - 認証用の単独 UI
  - 各ビューに共通するルックアンドフィール
  - サーバードプロファイルテンプレートをサポート
  - FCoE デュアルネットワークとマルチホップネットワークをサポート
  - ストレージビューによる 3PAR OS 3.2.2 をサポート
  - VM 展開ウィザード – OneView ストレージ用リソースとそのファイバーチャネル接続を使用したことによって VM 展開を簡略化
  - 仮想ネットワークアダプターおよび HPE OneView Logical Interconnect 情報をホスト詳細ビューで表示
- HPE OneView 2.0 をサポート
  - 1 リリース前との下位互換性のサポートにより HPE OneView 1.20 API と連動
  - エンクロージャーごとに複数論理インターコネクトのレポートをサポート (部分的にスタックされたドメイン)

- 新しい論理エンクロージャー情報のレポートをサポート
- HPE OneView Management Pack for SCOM
  - 管理パックにサーバーヘルス監視が組み込まれ、ProLiant BL/DL サーバー（G6～Gen9）をサポートするよう更新
  - 監視対象エンクロージャーをサポート
- HPE Storage Management Pack for SCOM
  - HPE 3PAR File Persona アラートをサポート
  - 3PAR StoreServ システムのアラートダッシュボードをサポート
  - LeftHand OS バージョン 12.5 をサポート
- Service Pack for ProLiant（SPP）2015.10.0 をサポート
  - HPE ProLiant Updates Catalog を最新のファームウェアおよびドライバーでアップデート
  - SCCM および SCVMM Integration Kit を最新のドライバーでアップデート
- 以下のバージョンの SCCM サービスパックを HPE ProLiant SCCM 2012 Integration Kit および HPE ProLiant Updates Catalog でサポート
  - SCCM 2012 SP2
  - SCCM 2012 R2 SP1

## 前提条件

- ① **重要:** HPE OneView SCOM Integration Kit には .NET Framework 4.5 が必要です。 .NET 4.5 がインストールされていない場合は、前提条件が満たされていないことを示すエラーメッセージを含むダイアログボックスが表示されます。

サポートされるハードウェアとソフトウェアに関する詳細は、それぞれの機能のユーザーガイドに記載されています。

これらのドキュメントは、OneView for Microsoft System Center ドキュメントの Web サイトで入手できます。

<http://www.hpe.com/info/ovsc/docs> または [http://www.hpe.com/jp/ic\\_manual](http://www.hpe.com/jp/ic_manual)

## インストール手順

OneView for Microsoft System Center は、サーバー、PC、ストレージ、ネットワークデバイス、ソフトウェアなど、IT の物理環境と仮想環境の管理を統一する完全に統合された製品です。Microsoft System Center Operations Manager（SCOM）、Microsoft System Center Configuration Manager（SCCM）、および Microsoft System Center Virtual Machine Manager（SCVMM）に Hewlett Packard Enterprise の拡張機能を統合し、Microsoft System Center 環境に Hewlett Packard Enterprise 製ハードウェアの管理機能をネイティブに提供します。

OneView for Microsoft System Center の各機能に関する個別のユーザーガイドがあります。この製品の現在のリリースの完全なドキュメントセットについては、Hewlett Packard Enterprise Enterprise Information Library（<http://www.hpe.com/info/ovsc/docs>）または（[http://www.hpe.com/jp/ic\\_manual](http://www.hpe.com/jp/ic_manual)）を参照してください。

# HPE OneView for Microsoft System Center バージョンと HPE OneView バージョンの互換性マトリックス

以下の各セクションでは、OneView for Microsoft System Center バージョンと OneView バージョンとの互換性、およびアップグレードの互換性について説明します。

## サポートされる HPE OneView for Microsoft System Center バージョンと HPE OneView バージョン

表 1 (5 ページ) は、OneView for Microsoft System Center バージョンと OneView バージョンの互換性を示しています。

**表 1 HPE OneView for Microsoft System Center バージョンと HPE OneView のバージョンの互換性**

OneView for Microsoft System Center バージョン	サポートされる OneView バージョン	解説
HPE OneView for Microsoft System Center 7.4	1.10.03~1.10.08	このリリースでは 1.10 リリースのみをサポートしています。1.10.09 以降のバッチはサポートしていません。
HPE OneView for Microsoft System Center 7.4.1	1.10.03~1.10.08	このリリースでは 1.10 リリースのみをサポートしています。1.10.09 以降のバッチはサポートしていません。
HPE OneView for Microsoft System Center 7.4.2	1.10.09 以降	このリリースでは 1.10 リリースのみをサポートしています。このリリースでは、1.10.09 以降のバッチのサポートが追加されました。
HPE OneView for Microsoft System Center 7.5	1.20.01~1.20.04	このリリースでは 1.20 リリースのみをサポートしています。1.20.05 以降のバッチはサポートしていません。
HPE OneView for Microsoft System Center 7.5.1	1.20.01 以降	このリリースでは 1.20 リリースのみをサポートしています。このリリースでは、1.20.05 以降のバッチのサポートが追加されました。
OneView for Microsoft System Center 7.6	1.20.01 以降	このリリースでは、1.20 のリリースのみサポートします。1.20.05 以降のバッチはサポートされています。
OneView for Microsoft System Center 8.0	1.20.01 以降および 2.0	このリリースでは 2.0 のサポートと、1.20 の下位互換性サポートが追加されました。

## HPE OneView for Microsoft System Center と HPE OneView のアップグレード互換性

表 2 (5 ページ) は、OneView for Microsoft System Center のバージョンと OneView のバージョンのアップグレード互換性を示しています。

**表 2 HPE OneView for Microsoft System Center と HPE OneView のアップグレード互換性**

OneView for Microsoft System Center のアップグレード	OneView for Microsoft System Center 8.0 でサポートされる OneView のバージョン
HPE OneView for Microsoft System Center 7.4.x~8.0	1.20 と 2.0
HPE OneView for Microsoft System Center 7.5.x~8.0	1.20 と 2.0
HPE OneView for Microsoft System Center 7.6~8.0	1.20 と 2.0

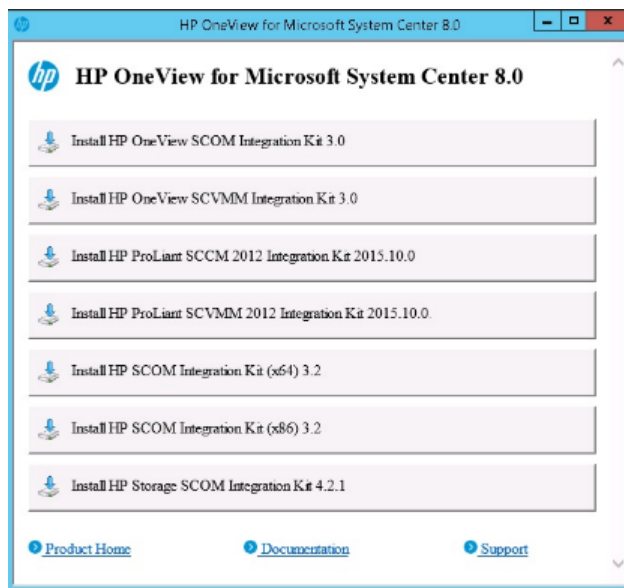
① **重要:**

- 先に最新バージョンの OneView にアップグレードしてから、OneView for Microsoft System Center バージョン 8.0 にアップグレードする必要があります。
- OneView for Microsoft System Center 7.6 以前のバージョンのプラグインは OneView 2.0 と連動しません。7.6 以前のバージョンのプラグインを使用している場合は、OneView 2.0 をサポートするようにプラグインをバージョン 8.0 にアップデートしてください。
- サポートされているバージョンの OneView for Microsoft System Center が手元にあることを確認してから、最新バージョンの OneView にアップグレードしてください。最新バージョンの OneView へのアップグレード後は、サポートされていないバージョンの OneView for Microsoft System Center を使用しないでください。

## HPE インストーラー

以下のイメージには、Hewlett Packard Enterprise の拡張機能を Microsoft System Center に展開し、構成するインストーラーにリンクするクリック可能な製品ラベルが示されています。各製品をインストールおよび構成するには、OneView for Microsoft System Center のドキュメント（<http://www.hpe.com/info/ovsc/docs>）または（[http://www.hpe.com/jp/ic\\_manual](http://www.hpe.com/jp/ic_manual)）を参照してください。**autorun.hta** が正しく機能するには、Java ソフトウェアのインストールが必要になる場合があります。

autorun に含まれている自己解凍型キットは、内容をデフォルトで現在のディレクトリに展開します。クリック可能な製品ラベルを正しく表示するには、これらの内容を現在のディレクトリ外で展開することをお勧めします。また、イメージを展開したフォルダー内では展開しないでください。



### HPE OneView SCOM Integration Kit (v 3.0)

このキットは、OneView によって管理されている Hewlett Packard Enterprise サーバー（G6～Gen9）、BladeSystem エンクロージャー、HPE Virtual Connect、HPE 3PAR ストレージアレイのヘルスを監視する場合にダウンロードしてください。詳しくは、Managing Mixed Environments with HPE SCOM Management Packs ホワイトペーパーを参照してください。

このキットには、アラート処理、状態監視、およびハードウェアリソースライフサイクル管理と、Hewlett Packard Enterprise サーバー（G6～Gen9）、Virtual Connect、HPE BladeSystem エンクロージャー、および OneView によって管理される HPE ストレージシステムの特有の情報とを統合する OneView Management Pack が含まれます。OneView Management Pack では、HPE

OneView Event Manager がアラート処理用のリソースプール内の各 SCOM 管理サーバーにインストールされている必要があります。

### HPE OneView SCVMM Integration Kit (v 3.0)

このキットでは、SCVMM Fabric Management および Storage Add-in がひとつに統合されています。このキットをダウンロードすると、以前、HPE Storage SCVMM 2012 Integration Kit と HPE SCVMM 2012 Console Integration Kit に組み込まれていた SCVMM Add-in が含まれています。このキットには、HPE Fabric Management Add-in for SCVMM が含まれています。これは、OneView または HPE Virtual Connect Manager を使用するサーバーおよびストレージファブリックの統合ビューを提供します。OneView とともに使用すると、OneView リソースをストレージとそのファイバーチャネル接続に使用することによって、高度なサーバープロビジョニング、OneView サーバープロファイルを使用してクラスターを拡張する機能、OneView 管理ホスト上で仮想マシンを展開する機能を提供します。これにより SCVMM の管理者は、HPE ストレージポートフォリオからの情報やイベントおよびアラートを確認して、HPE StoreVirtual 仮想ストレージアプライアンスを展開できます。[Add Capacity] および [Expand Cluster] 展開機能では、HPE ProLiant SCVMM 2012 Integration Kit (v 2015.10.0) のインストールが必要です。

### HPE ProLiant SCCM 2012 Integration Kit (v 2015.10.0)

このキットは、SCCM を使用してオペレーティングシステムを展開する場合にダウンロードします。キットには、ProLiant サーバーを展開するためのドライバーおよびドライバーパッケージがあります。このキットには、ProLiant Windows サーバーに関する拡張インベントリデータを収集するための HPE Inventory Tool が含まれています。

### HPE ProLiant SCVMM 2012 Integration Kit (v 2015.10.0)

このキットは、SCVMM を使用してオペレーティングシステムを展開する場合にダウンロードします。このキットでは、SCVMM 2012 ベアメタル OS 展開が支援されます。ProLiant サーバーを展開するために必要な Hewlett Packard Enterprise ドライバーを、SCVMM 展開プロセスで使用できるように、SCVMM ライブラリ共有に配置します。同じドライバーセットは、WinPE イメージに含めることもできます。

### HPE SCOM Integration Kit (x86/x64) (v 3.2)

この管理パックは、ProLiant サーバー、BladeSystem エンクロージャーおよび Virtual Connect を OneView で管理しない場合にダウンロードします。このキットによって、HPE Management Pack、ツール、HPE Device Monitor Service、または HPE Device Monitor Console がインストールされます。これらの Management Pack は、アラート処理、状態監視、およびハードウェアリソースライフサイクル管理と、HPE ProLiant Windows Server、BladeSystem Enclosure、Virtual Connect、HPE ProLiant Linux Server、HPE ProLiant VMware Server、および HPE ProLiant Agentless Server の特有の情報とを統合します。これらの Management Pack は、OneView によって管理されるデバイスを管理しません。代わりに、OneView SCOM Integration Kit を使用します。詳しくは、Managing Mixed Environments with SCOM Management Packs ホワイトペーパーを参照してください。

### HPE Storage SCOM Integration Kit (v 4.2.1)

このキットは、すべての Storage System のヘルスを監視する場合にダウンロードします。このキットにはより高度な 3PAR System ヘルスマネジメントが含まれているため、3PAR StoreServ Management Pack を OneView SCOM Integration Kit と一緒にインストールすることをお勧めします。

このキットから Storage Management Pack と User Configuration Tool がインストールされます。Storage ポートフォリオからアラート、イベント、トポロジ、容量、およびヘルスに関する情報を受け取ります。この情報は Operations Manager のさまざまなビューに表示されます。Storage のサポートマトリックスについては、HPE SPOCK の Web サイト (<http://www.hpe.com/storage/StoreVirtual-SPOCK>) を参照してください。

## HPE ProLiant Updates Catalog (v 2015.10.0)

Hewlett Packard Enterprise カタログは、サーバーインフラストラクチャを管理するために Microsoft SCCM 2012 または SCVMM 2012 を使用している HPE ProLiant のお客様に、統合ソフトウェアおよびファームウェアの更新機能を提供します。ProLiant Updates Catalog は、このイメージからはインストールされません。このカタログは、Microsoft の標準サードパーティパートナーカタログリストに「HPE ProLiant Updates Catalog」として登録されています。これは、System Center Updates Publisher (SCUP) で選択することができます。



## 問題と推奨処置

### HPE OneView コンポーネント

OneView が存在しないと、OneView のコンポーネントは動作しません。

**[Add Capacity] または [Expand Cluster] ウィザードでは、UEFIHPE ブートモードが選択されている、HPE OneView サーバードプロファイルの割り当てに失敗します。**

使用しているサーバードプロファイルで Unable to manage boot order in UEFI or UEFI Optimized mode with the current server ROM の警告が表示される場合、適切な ROM バージョンがありません。この問題を解決するには、次のいずれかの操作を実行します。

- 入手できる場合は、サポートされている ROM バージョンに更新します。
- RBSU を使用して、手動で UEFI ブート順序を管理します。
- ブートモードをレガシ BIOS に設定します。

詳細は、HPE OneView リリースノートを参照してください。

**[Add Capacity] ウィザードを誤って複数起動すると、展開ジョブが失敗します。**

[Add Capacity] ウィザードを誤って複数起動すると、展開ジョブが失敗して SCVMM コンソールがクラッシュする場合があります。この問題を解決するには、SCVMM コンソールと SCVMM サービスを再起動してハングまたは失敗したジョブをクリーンアップします。

**HPE OneView Server Management Pack を使用していると、オブジェクト検出オーバーライドエラーが発生します。**

オブジェクト検出オーバーライドを HPE Server Collection Discovery および HPE OneView Proliant Server Discovery に適用しようとする問題が発生し、このときオーバーライド値は選択した Management Pack にオーバーライドを含めて保存され、[Override Properties] ウィンドウには表示されません。[Override Summary] ページにも Microsoft .NET framework unhandled exception メッセージが表示されます。これらのオブジェクト検出ルールには、オーバーライドを適用しないことをお勧めします。この問題を解決するには、既存のオーバーライドを削除して値をデフォルト値にリセットします。

オーバーライドを削除するには、以下の操作を実行します。

1. オーバーライドを含む Management Pack を SCOM コンソールからエクスポートします。
2. Server Collection Discovery および OneView Proliant Server Discovery のルールに固有のオーバーライド設定を削除します。
3. Management Pack を SCOM コンソールに再度インポートします。